

小中一貫校(絹中学区)施設整備等に関する基本計画

資 参考資料

資—1	絹中学区におけるアンケート調査結果の概要	1
資—2	絹中学区における説明会の結果概要	17

平成27年3月

小山市

資 参考資料

資－１．絹中学区におけるアンケート調査結果の概要

１）調査概要

（１）調査の目的

- 絹中学区において小中一貫校や学校適正配置（学区・学校の再編）等を推進するにあたり、住民の皆様の意見や考え方を把握するために行いました。

（２）調査の対象

調査の対象		世帯数
合 計		449世帯
	小学生以下（12歳以下）の子供がいる世帯	225世帯
	その他の世帯からの無作為抽出	224世帯

（３）調査の方法

- 郵送による配布・回収

（４）調査の期間

- 平成26年9月4日（木）～9月24日（水）

（５）回収状況

- 配布数449票に対して、回答数は212票、回答率は47.2%でした。

配付対象		配布数	回答数	回答率
合 計		449票	212票	47.2%
	小学生以下（12歳以下）の子供がいる世帯	225票	132票	58.7%
	その他の世帯	224票	80票	35.7%

【調査結果の表記について】

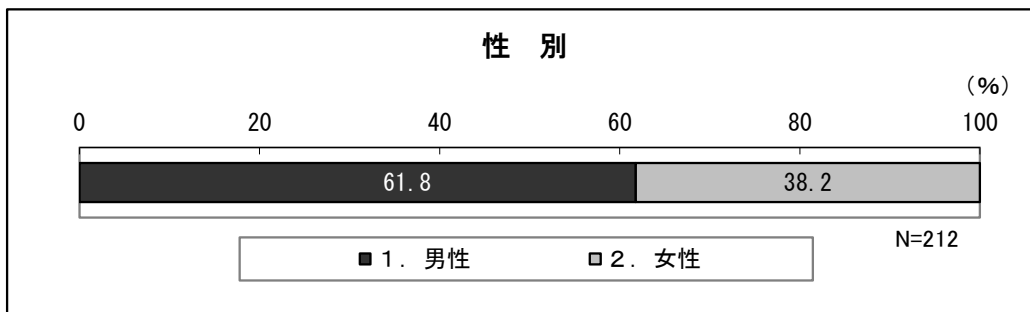
- 1：構成比（%）は、不明（無回答）及び非該当を除きます。
- 2：小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

2) 集計結果

問1. 性別 [単数回答]

○ 男性が6割を占め、男性の割合が高くなっています。

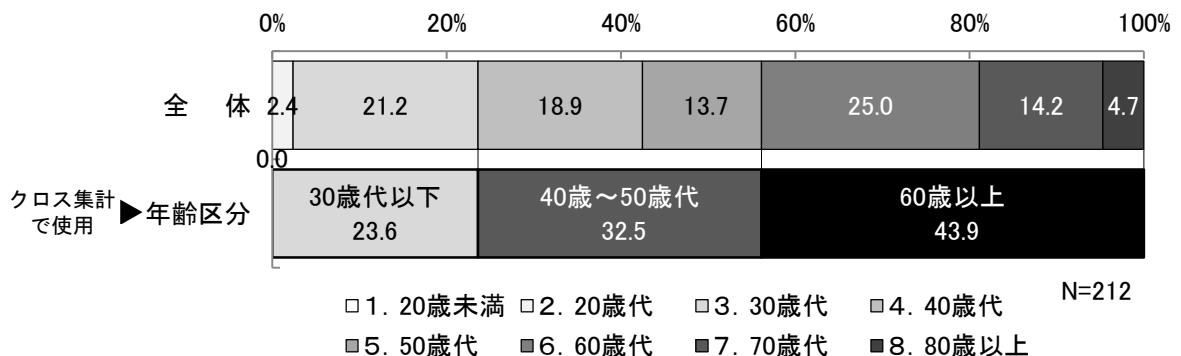
- ・男性は61.8%で6割を占め、女性は38.2%で4割弱となっており、男性の割合が高くなっています。



問2. 年齢 [単数回答]

○ 60歳代が最も多く、次いで30~40歳代が多くなっています。

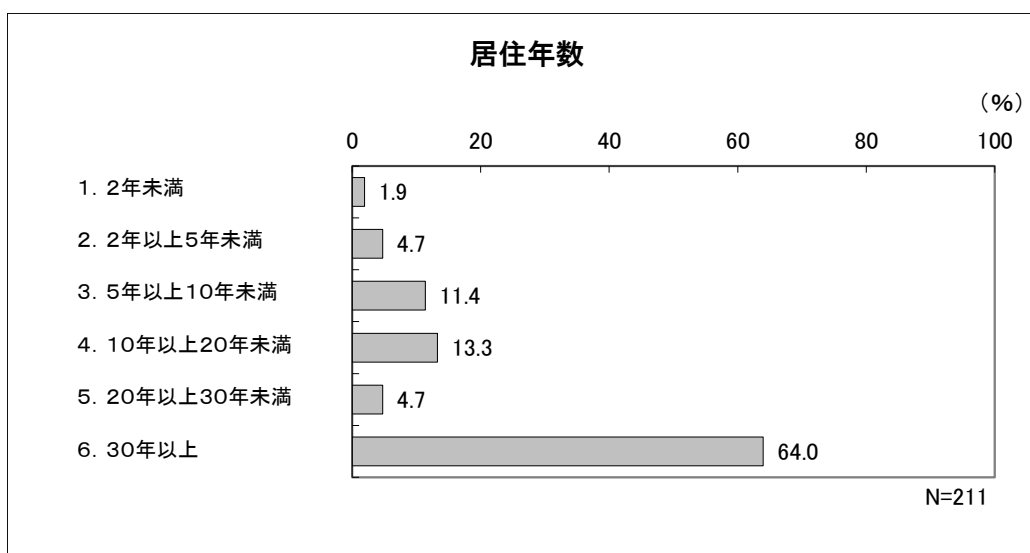
- ・「60歳代」が25.0%で最も多く、次いで「30歳代」が21.2%、「40歳代」が18.9%と多くなっています。
- ・小学生以下の子どもがいる世帯を調査対象としたことにより、子どもの親にあたる30歳代~40歳代も多くなったと考えられます。
- ・なお、クロス集計際には、内訳の3区分で分析を行います。



■ 問3. 居住年数 [単数回答]

○ 30年以上居住している人が6割以上を占め、最も多くなっています。

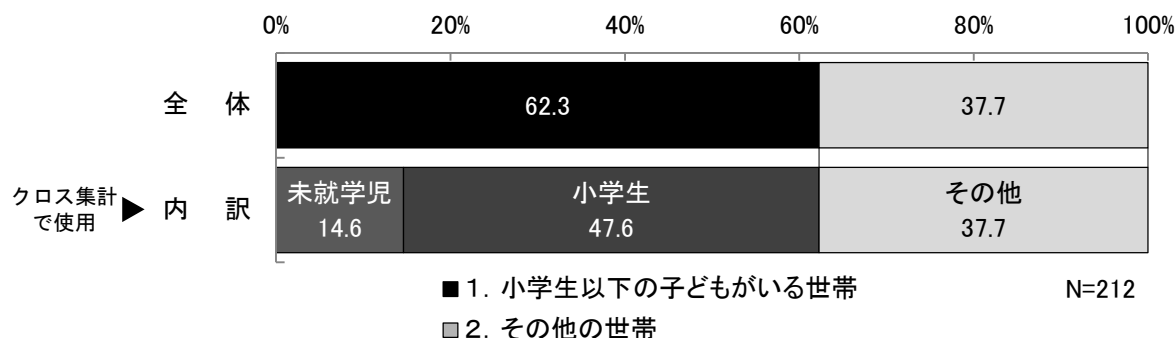
- ・「30年以上」が64.0%と6割以上を占め、最も多くなっています。
- ・また、「5年以上10年未満」と「10年以上20年未満」を合わせると24.7%で約4分の1を占めており、やや多くなっています。



■ 問4. 同居している子どもの有無と学年（年齢）【複数回答】

○ 小学生以下の子どもと同居しているのは6割以上となっています。

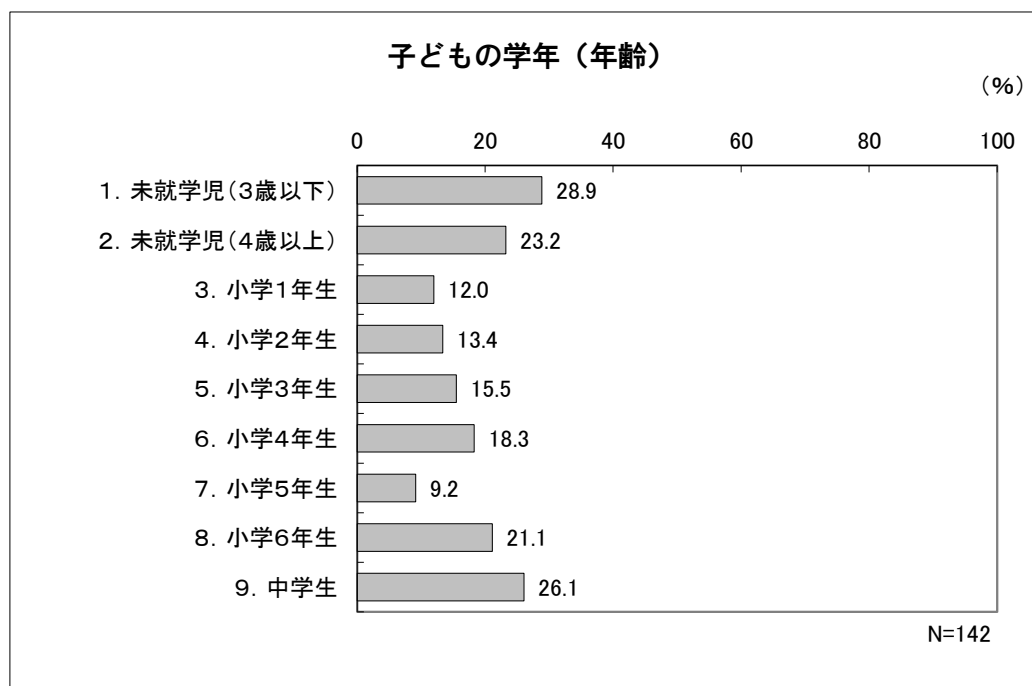
- ・「1. 小学生以下の子どもがいる」は62.3%で、6割以上を占めています。
- ・なお、クロス集計には、内訳の3区分で分析を行います。



【子どもの年齢・学年別】

○ 未就学児（3歳以下）が最も多く、小学生においては、学年（年齢）が低くなる程、概ね減少傾向にあります。

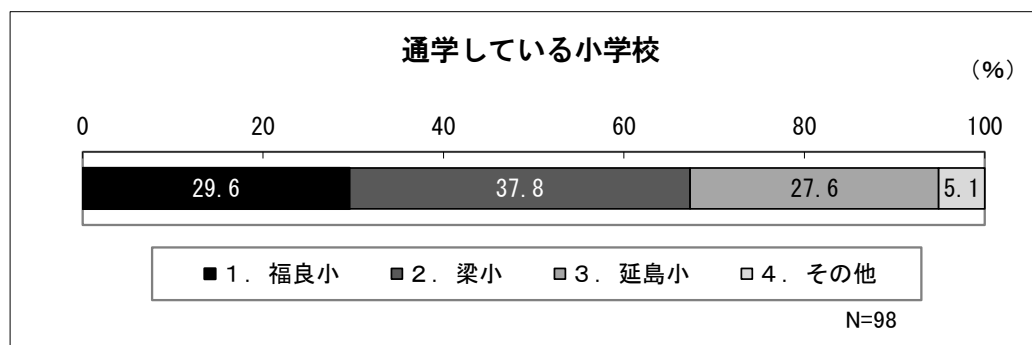
- ・「1. 未就学児（3歳以下）」は28.9%で最も多くなっています。
- ・また、小学生のうち、「7. 小学5年生」が9.2%で最も少なくなっていますが、「8. 小学6年生」から「3. 小学1年生」にかけて、概ね減少傾向にあります。



■ 問5. 同居している小学生が通学している学校 [単数回答]

○ 梁小、福良小、延島小の順番に多くなっています。

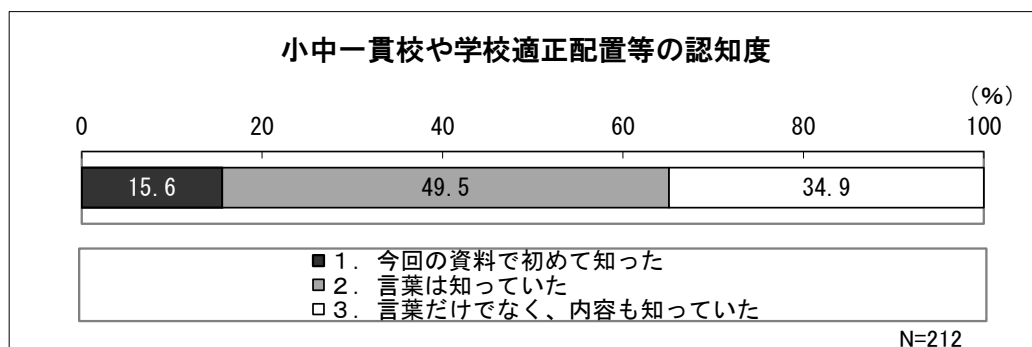
- ・「2. 梁小」が37.8%で最も多く、次いで「1. 福良小」が29.6%、「3. 延島小」27.6%となっています。一方で、「4. その他」も5.1%となっています。



■ 問6. 小中一貫校や学校適正配置（学区・学校の再編）等の認知度 [単数回答]

○ 8割以上が言葉あるいは内容を知っており、認知度は高くなっています。

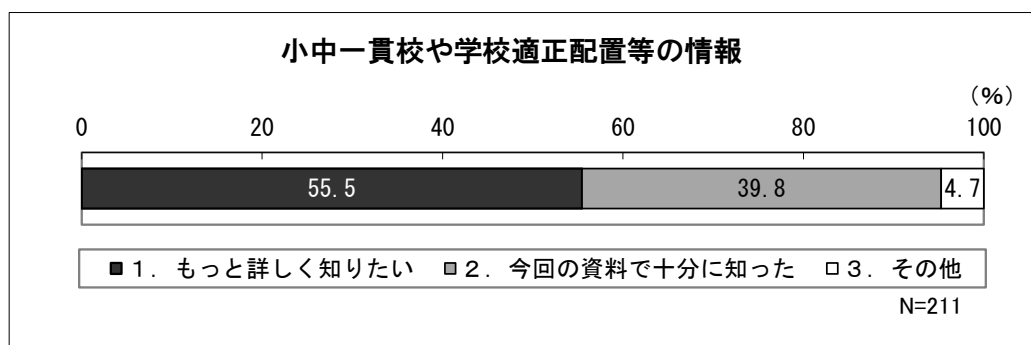
- ・「2. 言葉は知っていた」が49.5%で半数近くを占め、次いで「3. 言葉だけでなく、内容も知っていた」が34.9%で3割以上を占めていることから、8割以上の方が言葉あるいは内容を知っており、認知度は高くなっています。
- ・一方で、「1. 今回の資料で初めて知った」は15.6%となっています。



■ 問7. 小中一貫校や学校適正配置（学区・学校の再編）等の情報 [単数回答]

○ 「もっと詳しく知りたい」が半数以上を占める一方で、「今回の資料で十分に知った」が約4割を占め、一定の周知・PRの効果があったと考えられます。

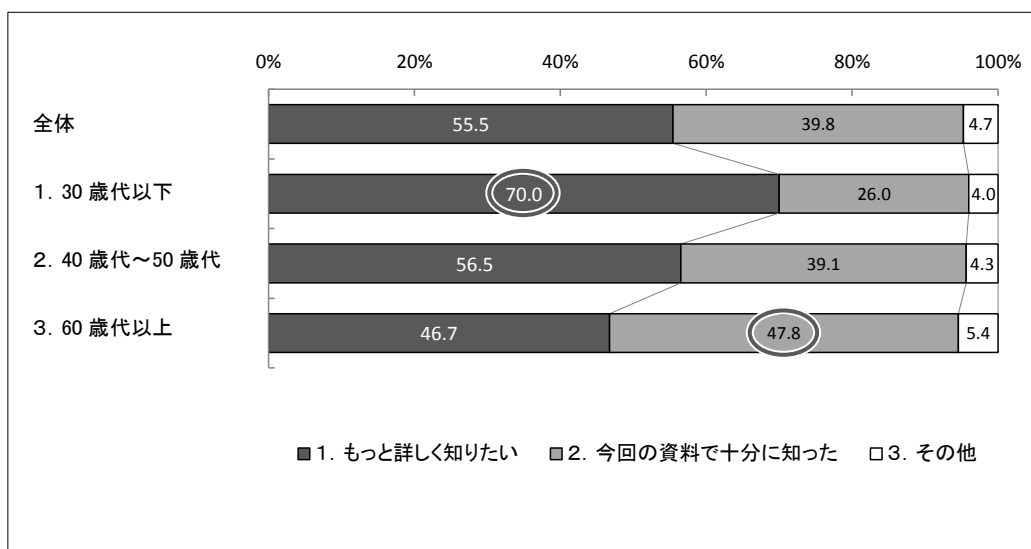
- ・「1. もっと詳しく知りたい」が55.5%で半数以上を占め、次いで「2. 今回の資料で十分に知った」が39.8%と約4割を占めていることから、一定の周知・PRの効果があったと考えられます。
- ・今後も、必要に応じて、周知・PRを行っていくことが課題となります。



【年齢別】

○ 年齢層が低くなるにつれて、小中一貫校や学校適正配置（学区・学校の再編）等の情報に対する関心が高くなる傾向にあります。

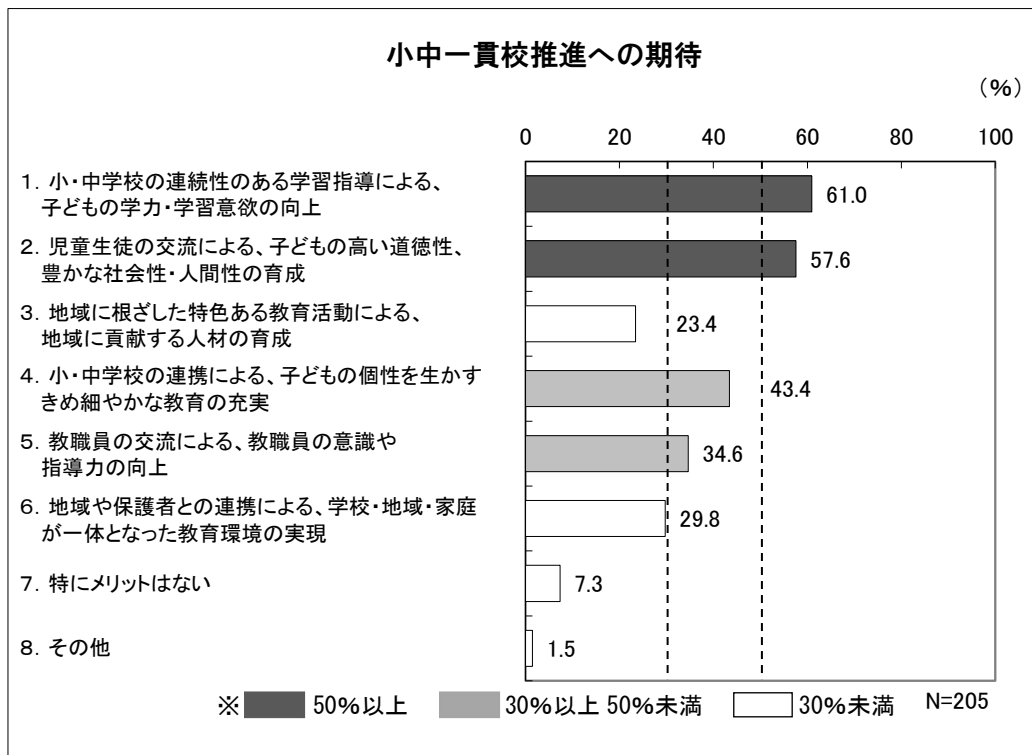
- ・30歳代以下では、「1. もっと詳しく知りたい」が70.0%で7割を占め、全体と比べても多くなっています。
- ・60歳代以上では、「2. 今回の資料で十分に知った」が47.8%で、「1. もっと詳しく知りたい」よりもやや多くなっています。



■ 問8. 小中一貫校推進への期待 [複数回答]

○「小・中学校の連続性のある学習指導による、子どもの学力・学習意欲の向上」や、「児童生徒の交流による、子どもの高い道徳性、豊かな社会性・人間性の育成」がそれぞれ約6割を占め、特に期待が大きくなっています。

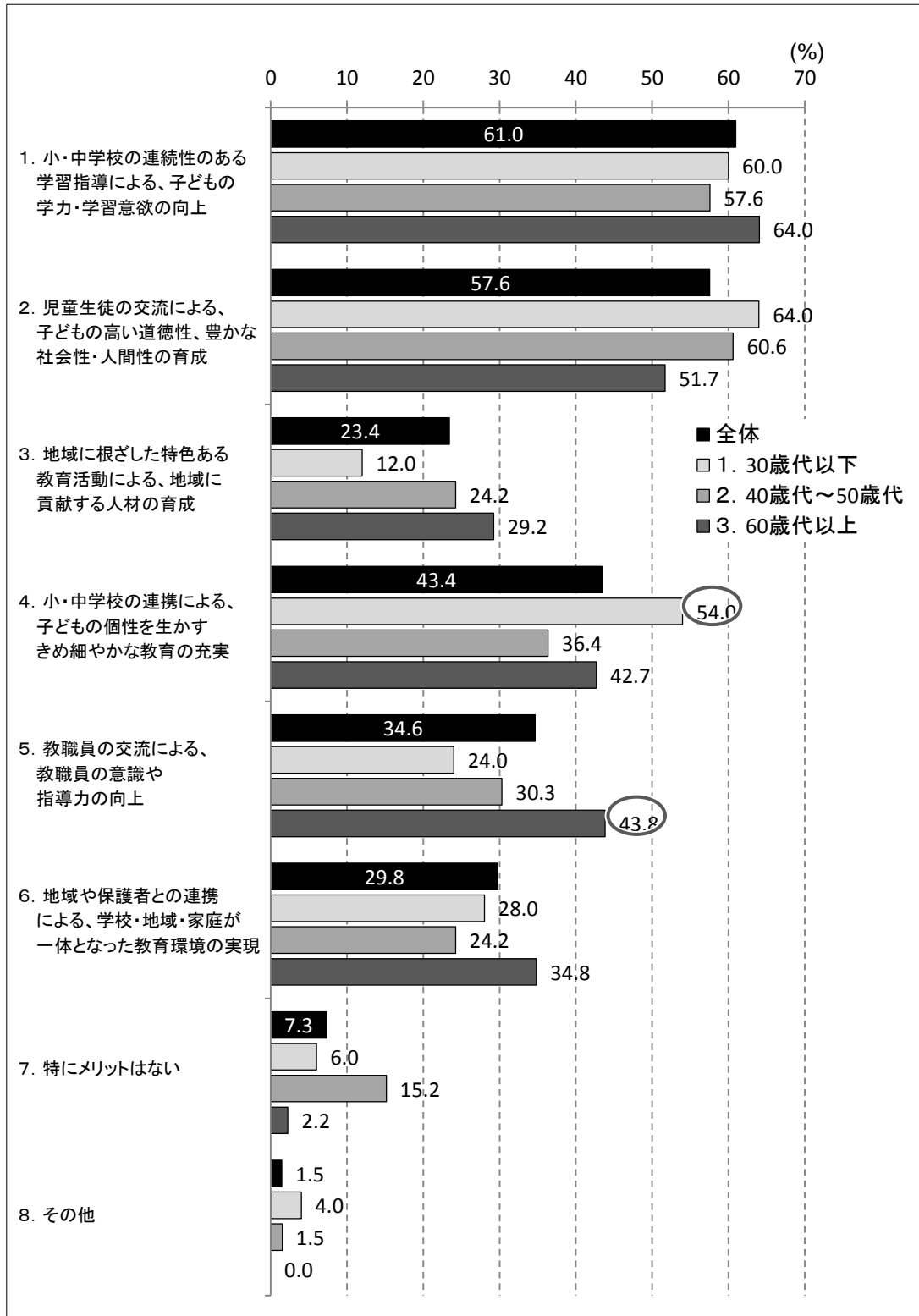
- ・「1. 小・中学校の連続性のある学習指導による、子どもの学力・学習意欲の向上」が61.0%、「2. 児童生徒の交流による、子どもの高い道徳性、豊かな社会性・人間性の育成」が57.6%で、それぞれ約6割を占めており、他と比べて特に期待が大きくなっています。
- ・その他、「4. 小・中学校の連携による、子どもの個性を生かすきめ細やかな教育の充実」が43.4%、「5. 教職員の交流による、教職員の意識や指導力の向上」が34.6%で、やや多くなっています。
- ・一方で、「7. 特にメリットはない」は7.3%と1割を切っています。



【年齢別】

○ 若年層では、子どものメリットに対する期待が高く、高齢層では、地域や教職員のメリットに対する期待も高くなっています。

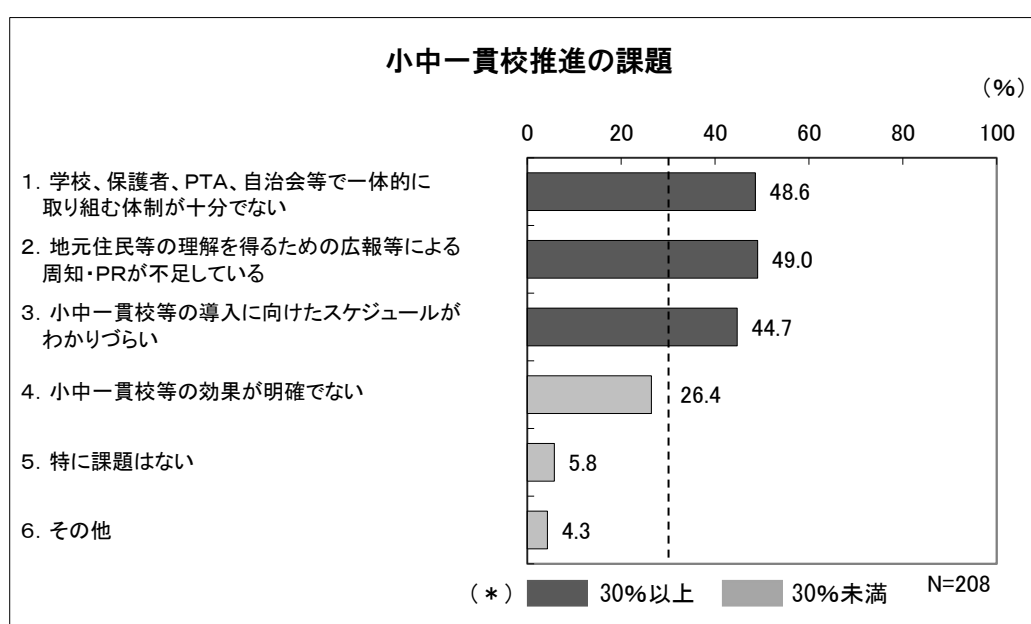
- ・ 30 歳代以下では、「4. 小・中学校の連携による子どもの個性を生かすきめ細やかな教育の充実」が 54.0% で半数以上を占め、他の年齢層と比べても多くなっています。
- ・ 60 歳代以上では、他の年齢層と比べて、「5. 教職員の交流による、教職員の意識や指導力の向上」も多くなっています。



■ 問9. 小中一貫校推進の課題 [複数回答]

○「地元住民等への周知・PRが不足している」、「学校、保護者、PTA、自治会等で一体的に取り組む体制が十分でない」、「小中一貫校等の導入に向けたスケジュールがわかりづらい」がともに半数近くを占め、課題と考える人が多くなっています。

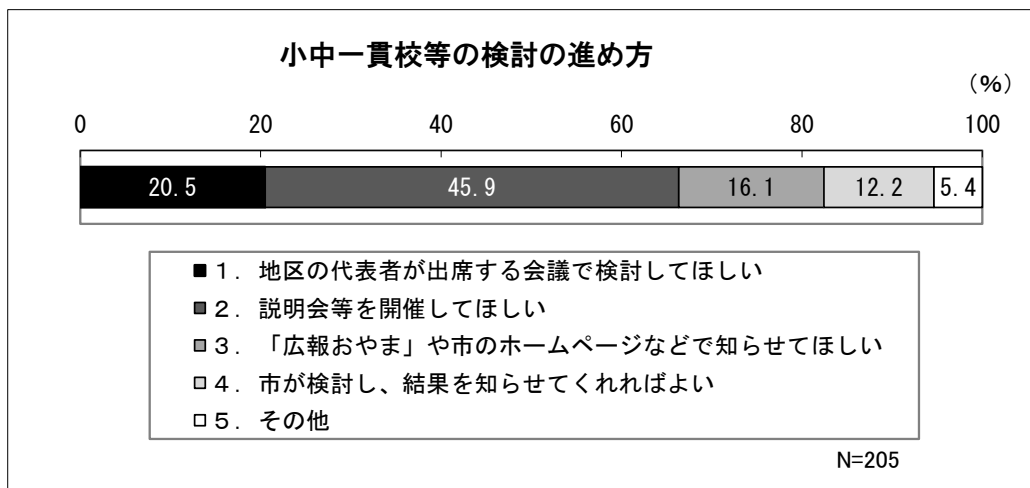
- ・「2. 地元住民等の理解を得るための広報等による周知・PRが不足している」が49.0%、「1. 学校、保護者、PTA、自治会等で一体的に取り組む体制が十分でない」が48.6%で、ともに半数近くを占めています。
- ・また、「3. 小中一貫校等の導入に向けたスケジュールがわかりづらい」も44.7%で、4割を超えています。



■ 問10. 小中一貫校等の検討の進め方 [単数回答]

○「説明会を開催してほしい」が4割以上を占め、最も多くなっています。

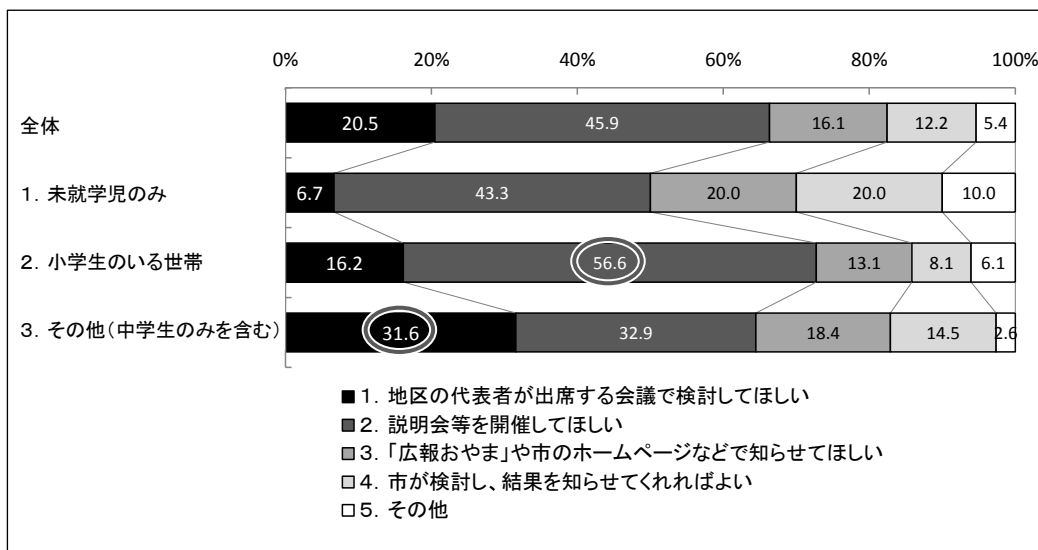
- ・「2. 説明会を開催してほしい」が45.9%と4割以上を占め、最も多くなっています。
- ・次いで「1. 地区の代表者が出席する会議で検討してほしい」が20.5%で、約2割となっています。
- ・今後、説明会等の開催により、地域住民への周知・PRや意見交換を行いながら検討を進めることが課題になると考えられます。



【子どもの年齢・学年別】

○小学生がいる世帯では「2. 説明会等を開催してほしい」が特に多くなっています。

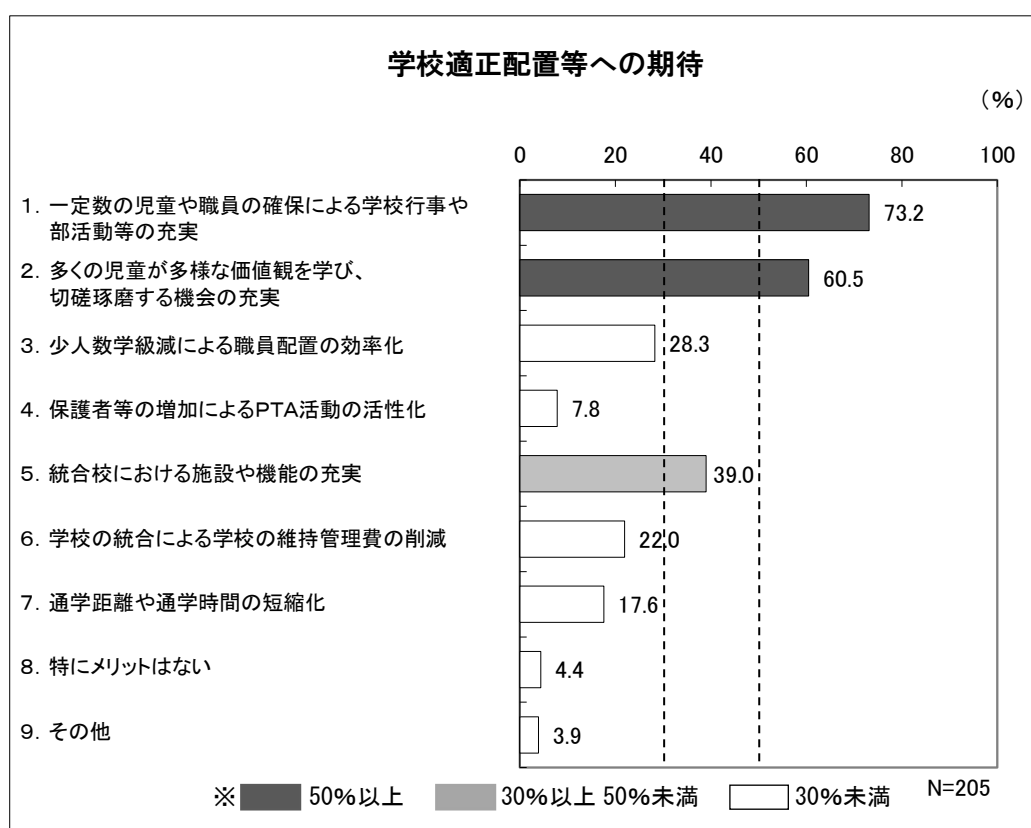
- ・小学生のいる世帯では、「2. 説明会等を開催してほしい」が56.6%で半数以上を占め、他の世帯と比べても特に多くなっています。
- ・その他の世帯（中学生のみの世帯を含む）では、他の世帯と比べて、「2. 説明会等を開催してほしい」が少なく、一方で、「1. 地区の代表者が出席する会議で検討してほしい」が多くなっています。



■ 問 1 1 . 学校適正配置（学区・学校の再編）等への期待 [複数回答]

○「学校行事や部活動等の充実」が約4分の3、「多くの児童が多様な価値観を学び、切磋琢磨する機会の充実」が6割を占め、特に期待が大きくなっています。

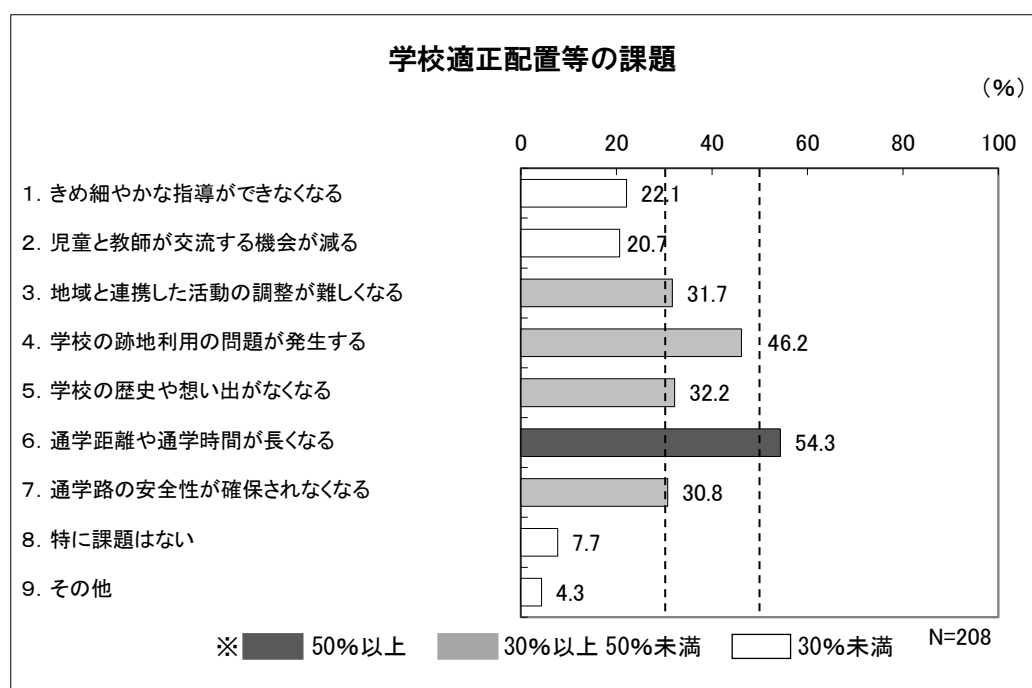
- ・「1. 一定数の児童や職員の確保による学校行事や部活動等の充実」が 73.2%で、約4分の3を占め、次いで「2. 多くの児童が多様な価値観を学び、切磋琢磨する機会の充実」が60.5%で6割を占めるなど、特に期待が大きくなっています。
- ・また、「5. 統合校における施設や機能の充実」も 39.0%で4割近くを占め、やや期待が大きくなっています。
- ・一方で、「4. 保護者等の増加によるPTA活動の活性化」は 7.8%、「特にメリットはない」は4.4%で、1割を切っています。



■ 問12. 学校適正配置（学区・学校の再編）等の課題 [複数回答]

○「通学距離や通学時間が長くなる」が半数以上、「学校の跡地利用の問題が発生する」が半数近くを占めており、これらを課題と考える人が特に多くなっています。

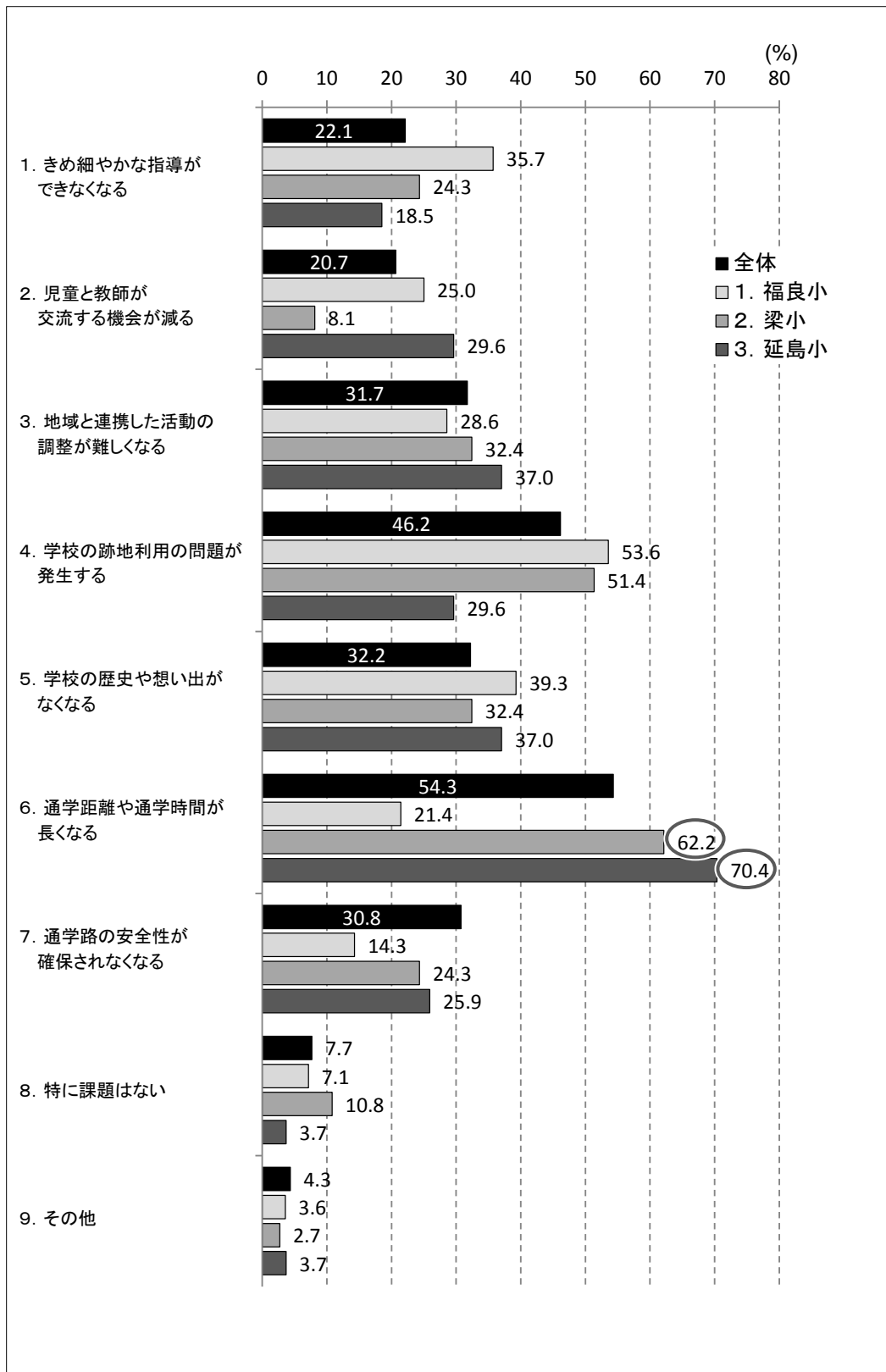
- ・「6. 通学距離や通学時間が長くなる」が 54.3%で半数以上を占め、次いで「4. 学校の跡地利用の問題が発生する」が 46.2%で半数近くを占めており、これらを課題と考える人が特に多くなっています。
- ・また、「5. 学校の歴史や思い出がなくなる」が 32.2%、「3. 地域と連携した活動の調整が難しくなる」が 31.7%、「7. 通学路の安全性が確保されなくなる」が 30.8%で、ともに3割を占めています。
- ・今後、スクールバスの導入等の通学手段の確保や、学校跡地の有効活用に向けた具体的な方策を検討することが課題になると考えられます。



【子どもの小学区別】

○ 福良小を校地として統合することで、梁小と延島小で通学距離や通学時間が長くなることを課題と感じている人が特に多くなっています。

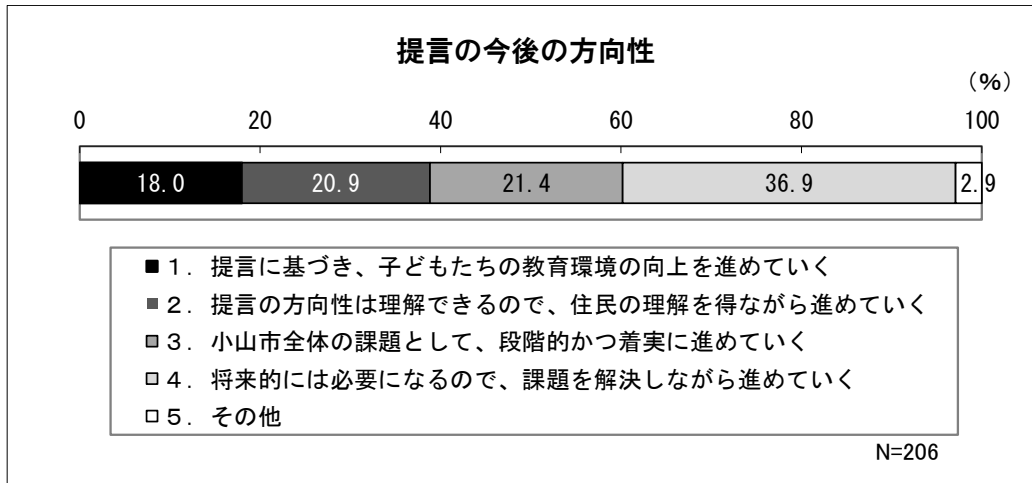
・「6. 通学距離や通学時間が長くなる」は、梁小や延島小で多くなっており、一方で、福良小では特に少なくなっています。



■ 問13. 提言に対する今後の方向性 [単数回答]

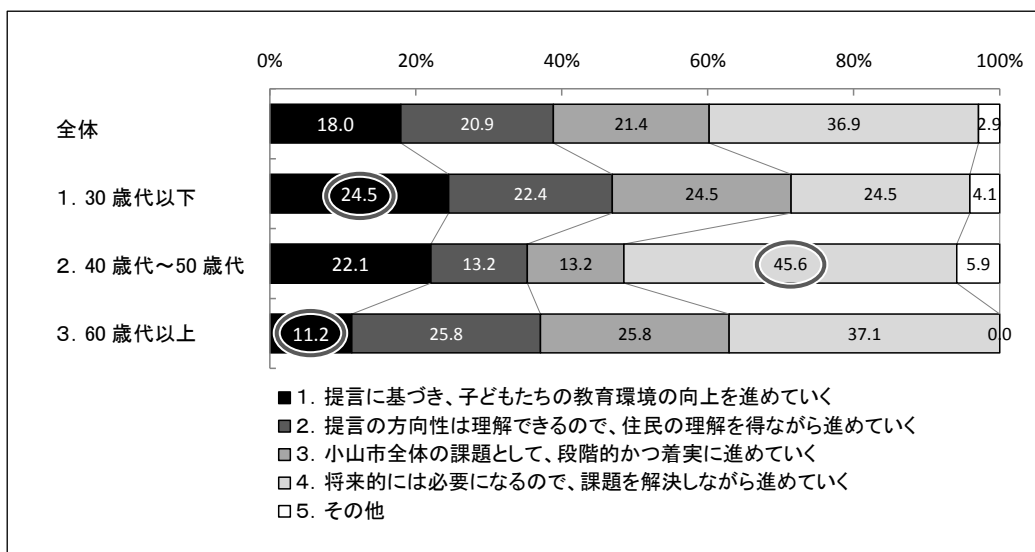
○ 「将来的には必要になるので、課題を解決しながら進めていく」が3割以上を占め、最も多くなっています。

- ・ 「4. 将来的には必要になるので、課題を解決しながら進めていく」が 36.9%で3割以上を占め、最も多くなっています。



○ 年齢層が低くなるにつれて、「1. 提言に基づき、子どもたちの教育環境の向上を進めていく」が多くなる傾向にあります。

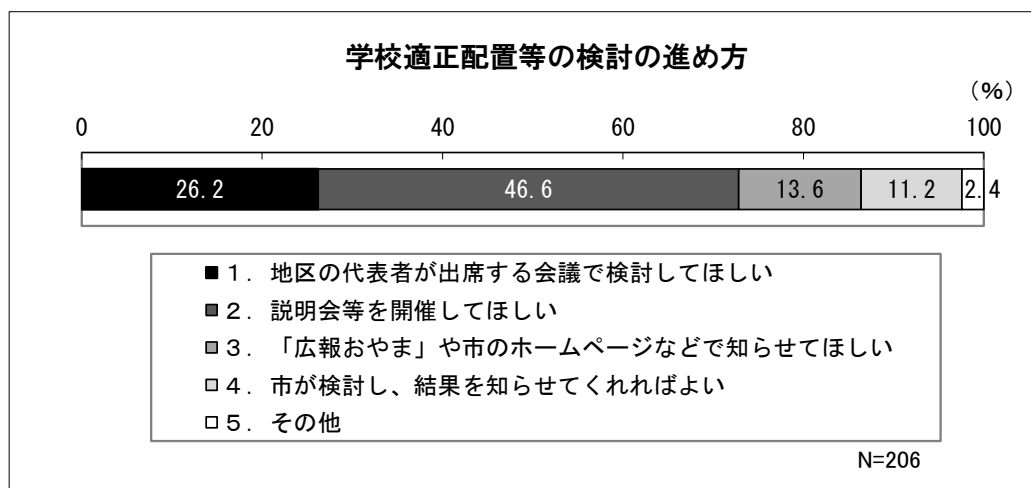
- ・ 「1. 提言に基づき、子どもたちの教育環境の向上を進めていく」は、全体と比べて、30歳代以下でやや多くなっています。一方で、60歳代以上で1割程度と最も少なくなっています。



■ 問14. 学校適正配置（学区・学校の再編）等の進め方 [単数回答]

○ 「説明会等を開催してほしい」が半数近くを占め、最も多くなっています。

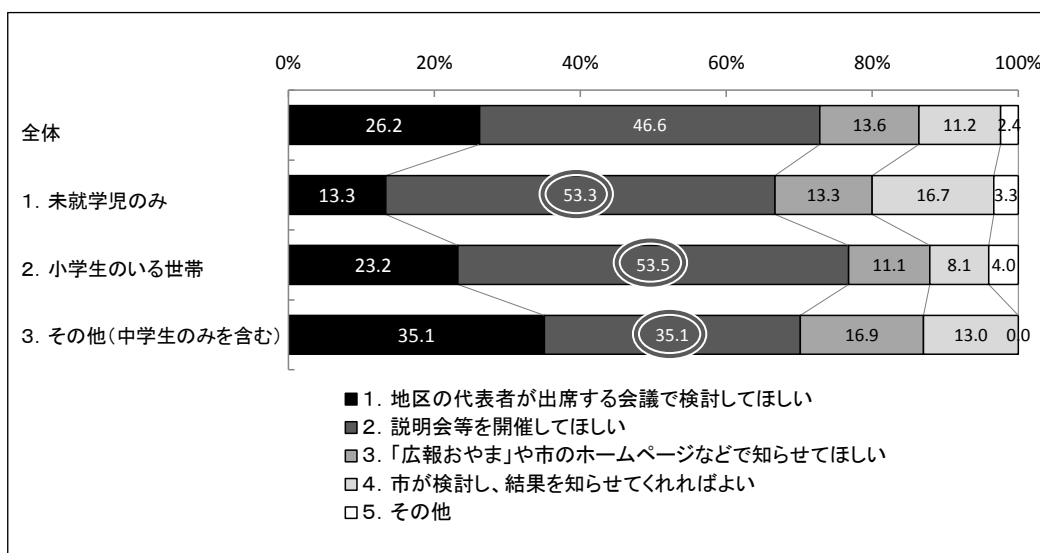
- ・「2. 説明会を開催してほしい」が46.6%と半数近くを占め、最も多くなっています。
- ・次いで「1. 地区の代表者が出席する会議で検討してほしい」が26.2%で、約4分の1を占めています。
- ・今後、説明会等の開催により、地域住民への周知・PRや意見交換を行いながら検討を進めることが課題になると考えられます。



【子どもの年齢・学年別】

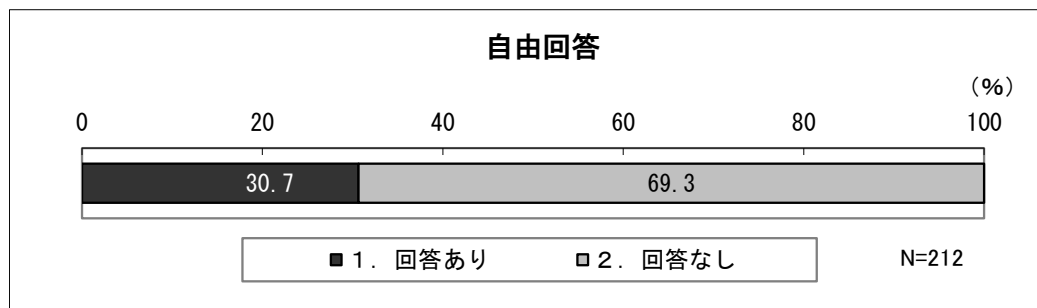
○ 未就学児のみの世帯や小学生のいる世帯では「2. 説明会等を開催してほしい」が多くなっています。

- ・未就学児のみの世帯や小学生のいる世帯では、全体と比べて、「2. 説明会等を開催してほしい」がやや多くなっています。
- ・その他の世帯（中学生のみの世帯を含む）では、「1. 地区の代表者が出席する会議で検討してほしい」と「2. 説明会等を開催してほしい」が同数となっています。



■ 問15. 小中一貫校や学校適正配置（学区・学校の再編）等の推進に関する自由意見

- 小山市や絹中学区における小中一貫校や学校適正配置（学区・学校の再編）等の推進に関するご意見やご要望、アイデアをいただいた結果、3割の方から回答をいただきました。



- 回答者の属性別意見数を見ると、小学生以下の子どもがいる世帯の方からのご意見が76件、その他の世帯の方からのご意見が20件、合計96件となっています。なお、複数のご意見がある場合は、それぞれの分類に仕分けしています。

A. 小学生以下の子ども いる世帯のご意見	B. その他の世帯のご意見	合 計
76 件	20 件	96 件

- また、いただいたご意見全体からは、主に以下のような意見がありました。

【主なご意見の種類】

- 1 通学距離や通学時間、通学路の安全性に関するご意見 【17件】
- 2 子どもの教育環境、学校行事や部活動等に関するご意見 【12件】
- 3 児童生徒数や学級数に関するご意見 【12件】
- 4 絹中学区の少子高齢化や人口減少等に関するご意見 【11件】
- 5 検討の進め方に関するご意見 【9件】
- 6 統合校の施設や機能、名称等に関するご意見 【9件】
- 7 学区・学校の再編等に関するご意見 【6件】
- 8 学校の跡地利用に関するご意見 【5件】
- 9 スケジュールに関するご意見 【4件】
- 10 その他のご意見・ご感想等 【11件】

資一2. 絹中学区における説明会の結果概要

絹中学区において、10月末から12月初めにかけて、保護者や自治会等を対象に、計5回の説明会を実施しました。その結果概要は以下のとおりです

■ 第1回 地元説明会（絹中学区）の実施概要

実施日	対象	参加者数
10月27日（月）	延島小（保護者）	35人
10月28日（火）	梁小（保護者）	24人
11月4日（火）	福良小（保護者）	25人
11月10日（月）	福良小（自治会）	8人
11月11日（火）	梁小（自治会）	14人
11月13日（木）	延島小（自治会）	12人
12月5日（金）	絹公民館（全体）	3人
合計		121人

また、いただいたご意見全体からは、主に以下のような意見や質問がありました。

主なご意見・ご質問の整理

【主なご意見】

- 1 小中一貫校への移行時における児童の精神的な負担を減らしてほしい【4件】
- 2 児童が安全・安心して通うための通学手段を確保してほしい【4件】
- 3 地域の意見を聞きやすい検討体制としてほしい【3件】
- 4 今後も説明会を開催してほしい【2件】
- 5 9年間にわたってクラス替えがないと、人間関係が固定化される【2件】

【主なご質問】

- 1 小中一貫校のメリットやデメリット等に関する質問【7件】
- 2 小中一貫校の名称や施設形態、指導区分等に関する質問【4件】
- 3 今後のスケジュールに関する質問【3件】
- 4 スクールバスの利用者の費用負担に関する質問【1件】

連絡先／小山市教育委員会 教育総務課

〒323-8686 栃木県小山市中央町1丁目1番1号

TEL 0285-22-9658 FAX 0285-22-9650

URL <http://www.city.oyama.tochigi.jp/>

・平成27年3月 初版